

つなぐ、フリーペーパー

Paper Smart

TAKE FREE

vol.
15
2025 Aug.

日常の中にある幸せ

兄妹で乗り越えた人工関節手術

人工股関節置換術体験談



スマートクリニックのYouTube
はこちら



Paper Smart バックナンバーを
WEBからご覧いただけます



本誌に掲載されている記事、写真、図表などの著作権は、スマートクリニックまたは著作者に帰属します。無断での複製、転載、翻訳、販売などを禁じます。
また、本記事に登場する体験談は、個人の見解に基づくものであり、これをもって一般的な効果や結果が保証されるものではありません。



Paper Smart Vol.15

兄妹で迎えた人工股関節手術

—もっと人生を楽しむために—

今回は、長野県在住の小林一男さん(兄)と大淵恭子さん(妹)ご兄妹にお話を伺いました。お二人は同時期に多治見スマートクリニックで人工股関節置換術を受け、しかも妹の大淵さんは当院で初めての「両側同時手術」でした。そんなお二人に手術までの経緯や想い、退院されてからの生活について伺いました。

Q 手術を受けたきっかけは何ですか？

小林さん：5年ほど前から股関節の調子が悪くなり、階段の上り下りもつらく、爪も切れないほどでした。整形外科で湿布や痛み止めを処方してもらい、なんとか過ごしていましたが、症状は徐々に悪化していきました。ストレッチや運動など、自分でできることを試しましたが効果は限定的で、日常生活が大変でした。そんな中YouTubeを見ていたら、「股関節の手術を受ける人は全体の2〜3割」と話している先生がいて、「自分はそこに当てはまらないかも」と期待しつつ、東京の病院を受診したところ、結果は“変形性股関節症の末期”という診断。やはり手術しかないかと覚悟を決めました。

大淵さん：私は兄ほど症状がなかったのですが、約10年前から、痛みやしびれ、立ち仕事足の冷えが気に掛かっており、車に乗るときには脚を手で持ち上げたり、自宅の階段を手の力で上っていました。病院では「それほど進行していない」と言われましたが、兄から「自分は末期だった」と聞き不安になり、兄がスマートクリニックに行くというので、私も同行しました。

Q スマートクリニックを選んだ決め手は？

小林さん：手術をしないといけないという状況の中、インターネットで情報を調べました。短期入院で済むこと、身体への負担が少ない術式があることを知り、色々調べているうちに、小林先生のホームページにたどり着きました。

実は小林先生が、以前私の地元、飯田市の病院にいらっしゃったと知り、急に距離が縮まったような感覚になりました。説明もとても分かりやすく、術後1週間で退院できることや、半身麻酔で手術が可能なこと、

そして完全個室という環境が決め手になり、「この先生にお願いしよう」と思いました。

大淵さん：私は初診の時、院長の福田先生が担当だったのですが、今まで通っていた病院の先生とは違って、すごく丁寧に話を聞いてくださって、気持ちに寄り添ってくれました。「あ、この病院、なんか良いな」って、直感的に思いました。

Q 手術の際に不安はありましたか？

小林さん：全身麻酔だと怖いな、と思っていたので、半身麻酔でできると聞いて安心しました。入院する不安よりも、妹と一緒に入院するので、持って行くお菓子や飲み物の相談をしたりして、ちょっと楽しみでもありました。

大淵さん：両方の股関節を一度に手術すると、どのように回復するのが不安で、ネットやYouTubeでかなり調べました。意外と情報が少なかったのが、自分が手術するならその様子を動画で残し、同じように悩んでいる方の参考になればいいなと思いました。

入院中は理学療法士の先生にお願いして、術後の経過やリハビリの様子を動画で記録していただきました。

足の爪が自分で切れるようになりました！

2025年3月
右側人工股関節置換術を受ける
小林 一男さん
KAZUO KOBAYASHI

私自身、そういう情報が一番欲しかったので、少しでも役に立てたらと思っています。

とは言え、「兄が決めた病院なら大丈夫」という安心感がありまして、「一度で両方の手術が済むなら、ちょっと得かも」なんて前向きに捉えていました。

Q 入院生活はいかがでしたか？

大淵さん：兄と病室もお隣同士にしてもらえ、毎日ラウンジで一緒に食事したり、お茶を飲んだりしました。兄妹でこんなにゆっくり過ごせることはあまりないので、とても新鮮で楽しかったです。

小林さん：妹が先に入院していたので、“先輩”として色々教えてもらいました(笑)。手術当日は痛くて眠れなかったし、術後2〜3日は痛みやむくみがありましたが、リハビリをすると楽になりました。リハビリはすごいなって思いました。

Q 術後の経過と生活の変化について教えてください

小林さん：退院後数日は家の中でも杖を使っていましたが、かえって歩きづらく外出時だけ使っていました。痛み止めは1ヶ月半ほど飲みましたが、2ヶ月もすれば痛みも違和感もなくなりました。今ではグッシュもできるし、自分で足の爪も切れるようになり、とても嬉しいです。

大淵さん：私は術後1週間くらい痛みがあり、痛み止めは2ヶ月飲んでいました。痛くなる前に薬を飲んでいたので、生活はそれほどつらくなかったです。今は両脚とも動かせるし、10年ぶりに脚を組めるようになった時は感動でした！手術前はゴミ出しやちょっとした坂道もつらかったのですが、今はゴミ出しすら楽しいです。

普通の生活が普通にできるようになったことが嬉しいです。

2025年3月
両側人工股関節置換術を受ける
大淵 恭子さん
YASUKO OFUCHI

Q 術後にやってみたかったことは叶いましたか？

小林さん：以前は、週に3回はウォーキングしていました。術後2か月経った頃には、1日に1万5000歩、違和感なく歩けるようになり「よし、戻ったな」と思いました。

大淵さん：何か目標があったわけではありませんが、普通の生活が普通にできることの喜びが大きいです。今まで当たり前のことができていなかったのが、冷蔵庫の下物を取るとか、どんな動作も楽にできるので、生活が楽しくなりました。

手術の2か月後には、兄と私と主人の3人で仙台へ旅行に行きました。空港から遠い駐車場だったのですが、痛みなく普通に歩けました。以前では考えられなかったことです。

Q これから手術を考えている方へ一言お願いします

小林さん：今、悩んでいらっしゃる方には、まず一度受診してみることをお勧めします。もし納得できなければ、セカンドオピニオンとして別の医師の診察を受けるのも大切だと思います。その中で、自分が納得できる治療や手術を選んでいくのが良いのではないのでしょうか。

僕はあと20年くらいは楽しく旅行も行きたいし、歩きたいという思いがあり手術を選択しました。

これからの人生を楽しく過ごすために、今どんな治療が最善かを考え、選択することが大切だと思いますし、もし手術をするなら、スマートクリニックをお勧めしたいです。

大淵さん：手術の方法は医師によって違うと思いますが、私は兄が探してくれたスマートクリニックで手術を受けられて、本当にラッキーだったと思います。

やっぱり、楽しく明るく、自分のやりたいことをこれからも続けていきたいので、手術に迷っている方は、一日でも早く受けることをお勧めします。スマートクリニックは私も大好きな病院です！

編集後記

お二人の笑顔からは、手術を経て取り戻した「当たり前の日常」と、そこにあるささやかな幸せがにじみ出ていました。ご兄妹で支え合いながら選んだ手術という選択が、これからの人生をより自由に、豊かにしていくことを願っています。

